

令和6年9月20日からの大雨への派遣

- 9月20日～22日にかけて前線および台風第14号から変わった低気圧が日本海から三陸沖へ進み、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり、秋田県、石川県では21日午前中に線状降水帯が発生し、石川県能登では、21日に輪島市、珠洲市及び能登町に大雨特別警報が発表され、石川県の多いところでは20日から22日までの総降水量が500ミリを超え、9月1ヶ月間の平年の降水量の2倍を上回るなど、北陸地方や東北地方で記録的な大雨となった。
- この記録的な大雨の影響により県管理の21水系28河川で浸水被害が発生したほか、石川県を中心に全国で121件の土砂災害が発生した。
- 全国の53自治体(27市20町6村)へホットラインと構築し、5県11自治体(5県庁4市2町)にリエゾン等を派遣し自治体のニーズを把握した。
- TEC-FORCE隊員の広域派遣(北海道開発局、東北地整、関東地整、中部地整、近畿地整)し、ドローン等を活用した被災状況調査のほか、排水ポンプ車による排水作業や、道路啓開作業等の応急対策を実施し、被災地の早期復旧を支援。
- 被害の迅速な全容把握のため、防災ヘリコプター(ほくりく号(北陸地整)、まんなか号(中部地整)、きんき号(近畿地整))やCar-SAT(北陸地整)による被災状況調査を実施。
- 災害対策用機械(照明車、散水車(給水装置付)等)を派遣し、避難所への電源支援や断水した地域に給水支援を実施した。

・TEC-FORCE派遣人数のべ3,448人・日
・災害対策用機械等のべ981台・日

自治体のニーズを把握(リエゾン)



県職員とリエゾンとの情報共有
(石川県庁)



関係機関との情報共有
(石川県輪島市)

応急対策(排水、道路啓開)、被災状況調査



排水作業(町野川)
(石川県輪島市)



道路啓開作業
(石川県珠洲市)



被災状況調査(砂防)
(石川県輪島市)



被災状況調査(河川)
(石川県輪島市)

被災状況調査(防災ヘリ・Car-SAT)



防災ヘリによる調査
(石川県)



Car-SATによる調査
(石川県)

災害対策用機械(照明車・散水車(給水装置付)等)



照明車による避難所への電源支援
(石川県珠洲市)



散水車(給水装置付)による給水支援
(石川県珠洲市)